

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在の事業所の理念は、職員の行動理念としての意味合いが強いものであり、当事業所も開設から10年の節目を迎え、グループホームの役割を意識した理念を再構築することが必要。	①事業所理念の再構築 (H24. 1～H24. 3)	1. 職員全員で、現在の理念がどういった経緯で立てられたものかを振り返る。 2. グループホームの役割を勉強会形式で、職員全員に再徹底する。 3. 各棟で、現状と今後の展開について話し合う。 4. リーダー会議で、新しい理念を決める。	3か月
2			②新理念の周知徹底と共有化 (H24. 4～H24. 9)	1. 年度初めの全棟会議で新理念の意義と意味を職員に説明 2. 新理念をホール内に掲示 3. 各会議前に唱和	6か月
3	25	利用者本人のできる能力について、職員の理解度に差がある。	再アセスメントをして、ケアの統一を図る。 (H24. 1～H24. 6)	1. センター方式のDシートを使って、情報を共有する。 2. 毎月のケア会議で、職員間での理解度を確認する。 ※最初の1ヶ月でシート記入と共有を図る。その後、毎月、意見交換して精度を高める。	6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。